



CHATERED IN
NOVEMBER 21, 1955

THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S

2021年8月

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

札幌クラブ

今月の強調目標 L/T・IBC (リーダーシップトレーニング・国際兄弟クラブ)

一 主題

国際会長 「世界とともにワイズメン」
アジア会長 「100年を越えて変革しよう」
東日本区理事 「私たちは次の世代のために何が出来るか？」
北海道部部长 「心を高めようパート2 'ワイズダム'の繋を友青の輪こ」
札幌クラブ会長 「踏み出そう 次の一歩」

キムンチェ (韓国)
大野 勉 (神戸ポート)
大久保 知宏 (宇都宮)
中村 義春 (十勝)
柴田 伸俊 (札幌)

札幌クラブ役員

会長 柴田 伸俊
副会長 伏木 康
書記 伏木 康
会計 秋葉 聡志
直前会長 宮崎 善昭

今月の聖句

「また、競技をする人も、規定にしたがって競技をしなければ、栄冠が得られません」

(テモテへの手紙第二 2章 5節) (小野 健選)

巻頭言

「八月や 六日九日 十五日」 札幌クラブ ブリテン担当 中田 靖泰



「八月や 六日九日 十五日」この句を見てこうべを垂れるワイズメンは今何割いるでしょでしょう。「なんだそれ。なにかなのおまじないかな？」と首をかしげるワイズメンの方が多くなっているのではないのでしょうか。

この8月は、76年前の1945年の8月です。

6日は広島への原爆投下の日、9日は長崎への

原爆投下の日、15日は終戦の日です。

あの年の八月十五日、私は中学2年生でした。中学生になっても、殆ど学校へは行けませんでした。留萌の北の小平蕊という寒村で数か月、暗渠排水をしました。ツンドラ地帯なので水を抜かなければ作物を育てることが出来ません。大変な重労働ですが、成年男子は皆戦場に出ていて、頼れる労働力は、13、4歳の中学生だけだったのです。

今は幻になったニシンの群衆(「グンライ」などと読まないで下さい。「クキ」と読むのです。)にも駆り出されました。遥か沖の沖まで真っ白。見渡す限り、ニシンニシンです。石炭のボタ山のように積み上げられたニシンを五右衛門風呂のような大きな釜で煮て肥料にする「ニシンかす」を作るのです。(とてもたべきれぬ量ではありませんので。近隣の農家が買いに来ても販売の単位は「馬車に1杯いくら」でした。)

あのニシンの匂い！私たちはそれから数年、ニシンを食べることが出来ませんでした。

あの十五日、私は級友と二人、炎天下の玉ねぎ畑の真ん中で除草をしていました。昼ごはんを届けに来る農家のおばさんは夜になっても来ません。家に帰っても誰もいません。隣の家も、その隣の家も空っぽです。あんなに恐ろしかったことはありません。この世に誰一人いないのですから。結局、村の全員が集会場に集まって、「日本は負けた」と言って泣いていたのです。

(酒が飲める人は飲んで。飲めない人も飲んで。)今でも中学の友人と会うと最初に出るのはにしん場の苦労話です。他のクラスの友人たちは飛行場で飛ばないか形だけの木製飛行機作り、炭鉱での石炭運びに汗を流していました。

私たちの人生はあの日を境に180度変わりました。海兵、陸士を目指していた愛国少年たちは新しい目標を見出さなければなりません。教科書は至る所黒々と塗りつぶされ、ラジオは「真相はこうだ」という番組で「今までの大本営発表はすべてウソ、今までのヒーローはすべて極悪の戦争犯罪者」と教えてくれるのですから。

人生はそれまでの記憶の上に今があるのです。忘れたいもの、忘れた方がいいものもあります。しかし、決して忘れてはいけないものもあります。私にとって、8月6日、9日、15日はそういう日です。

ワイズにも忘れてはいけないものがあるはず。創立100年を向ける東日本区のワイズメンにとっては、それは1, 246という数字ではないでしょうか。「何ですか？」ですって。ご自分でお考え下さい。

2021年7月例会

在籍会員 8名

例会出席 6名

メネット 0名

メーキアツプ 0名

出席報告

ゲスト 0名

ピクチャー 0名

出席者合計 6名

出席率 75%

札幌ワイズメンズクラブ 2021年8月例会

日時：2021年8月17日（火） 18:30～19:00
会場：オンライン例会 Google Meet
会費：なし

プログラム

- 司会 伏木 康
- ① 開会点鐘 札幌クラブ会長 柴田 伸俊
- ② ワイズソング、ワイズの信条 なし
- ③ 聖句 小野 健
- ④ 会長あいさつ 会長 柴田 伸俊
- ⑤ 誕生日 8月25日 北川 綾子
8月27日 安田 文子
- ⑥ 結婚記念日 なし
- ⑦ 卓話 **フリートーク**
- 会員の現状、YMCAの現状、
今年のワイズのYMCA活動などなど**
(山崎修氏の卓話は9月に延期致します)
- ⑧ 諸報告
- ⑨ YMCA報告 YMCA担当主事
- ⑨ 今月の歌 なし
- ⑩ 閉会点鐘 会長 柴田 伸俊

何故この聖句を？ 小野 健

この原稿を書いているのはちょうど東京オリンピックが閉幕を迎えるところです。今回のオリンピックは、コロナウイルス感染症対策で、出場する選手は事前の審査やワクチン接種、入国後の隔離、様々な感染対策の中での練習調整など、競技を行うまでの様々な規制が求められ、それをクリアしなければ競技に参加することができませんでした。厳しいルールを守りながら競技に参加し、自分の持っている最高のパフォーマンスを出し切って栄冠を得た全てのアスリートの皆さんに敬意を表する意味で、この聖句を送りたいと思います。



札幌ワイズメンズクラブ7月例会

日時：2021年7月20日（火） 18:30～20:00
場所：リモート例会
出席者：秋葉、伏木、柴田、北川、中田、宮崎
ワクチン接種は徐々に進んでいるようですが、札幌市の感染者数は急増。再度の「まん延防止等重点処置（俗称：マンボウ）」が発令され、札幌クラブも遂にリモート例会に追いこまれました。
詳細は、p.3を参照。

札幌クラブ 7月事務会

- 日時：2021年7月27日（火） 19:00～20:00 (Meet)
出席：柴田（長）、小野、伏木、中田、宮崎、秋葉
内容：
- 8月例会：
 - 日時：8月17日（火）18:30～19:30（オンライン）
 - 卓話：山崎氏を予定。（柴田会長連絡調整）
 - 東日本区関連：
 - 東日本区 Change!2020 推進委員会より各クラブ宛てにワイズ・クラブ紹介カード 100枚が送られてくる予定。到着してから活用方法を検討する。
 - 北海道部関連：
 - 月例事業報告：本年度より毎月定型書式により各クラブ事業報告を中村部長へ提出することになった。当面柴田会長が対応する。
 - 第1回北海道役員会：
 - 8月4日（木）19:00～Zoomにより開催。7月28日出欠連絡。議案書移出のこと。以下確認。
 - ① 柴田、伏木、宮崎、秋葉、中田（陪席）
 - ② CS資金「2022年度チャリティラン協賛 30,000円」議案書提出。
 - 2020～21年度決算報告：
 - 20～21年度決算報告：
 - 前月事務会で承認された決算に対する見込みに対する修正点を整理した決算が秋葉会計より報告され、収入422,000円、支出261,798円、次期繰り越金160,202円の決算となった。ついで伏木監事から監査報告がなされ、承認された。
 - 2) 21～22年度予算：
 - 前月事務会にて確認された予算案が示され、承認された。収入550,202円、支出446,000円、次期繰越金204,202円となり、新たな項目として「地域・ユース支援」を設定し、地域支援、ユースクラブ支援にそれぞれ50,000円を予算付けした。
 - YMCAサービス関連：
 - チャリティラン 7/19～8/31 実施中。
 - チャリティパークゴルフ 9/19 予定。
 - バザー 10/3 予定。詳細未定。
 - その他：
 - ユースクラブへの今後の働きかけについて、近々開かれる東日本区ユース委員会の動向を確かめつつ、木田ディレクターとお情報交換しながら進めていく。（記録：秋葉）

7月例会卓話

2021~22年度札幌クラブ活動方針

札幌クラブ会長 柴田 伸俊



リモート例会・事務会が多くなっている現状のクラブ活動ですが、この時期だからこそ結束して乗り切っていきたいと思います。今年度の会長指針として特に下記の1~2の2点を重点課題と考えます。

1. YMCA に対する奉仕の在り方:

コロナ禍でYMCAの事業の在り方、手法が変わってきました。それに応じたワイズの関り方も変化しなければなりません。従来の方法では出来なくなっています。

バザー、ワイズベル杯、チャリティーラン、それぞれの支援をYMCAとしてしっかり話し合いながら新しい道を探していきたいと思います。

2. ユースへの関わり方:

リーダーを含めたユースの関わる機会を増やしたいと思います。特に宮崎直前会長期に動きがあった、リーダーOBの動きに注目し、情報は常にもらいながら、立ち入り過ぎず少し距離を置きながら、何とか形になるよう

にサポート出来たらと考えています。

- ① **その他:** 今期より毎月北海道部に活動報告の提出があります。今期は会長が担当し処理していきます。会員には同時に報告いたします。ブリテン発行も報告に入れます。
- ② アジア太平洋地域の投票が終了しました。投票完了です。
- ③ アジア太平洋地域ユースコンボケーションが8月7~8日14時~18時リモートで行われます。参加者募集です。
- ④ 宮崎前会長より引き継ぎました新会員候補の連絡を継続します。
- ⑤ 北海道部第一回役員会の出席者確認。柴田、秋葉、伏木、宮崎、中田の5名

ワイズメンズクラブ国際協会北海道 第1回役員会

開催月日: 2021年8月4日(水) 午後7時00分~午後8時30分

開催方法: ビデオ会議システム Zoom によるリモート会議

出席者: 部長 中村 義春(十勝) 直前部長 宮崎 善昭(札幌) 次期部長 小谷 和雄(札幌北)
書記 山下 真(十勝) 会計監査 二本松能敬(北見) 部選出代議員 宮崎 善昭(札幌)
会員増強事業主査 重堂 幸恵(十勝)
札幌クラブ会長 柴田 伸俊(札幌) 北見クラブ会長 山田 剛(北見)
オブザーバー 秋葉 聡志(札幌) 中田 靖泰(札幌)

- (1) 情勢報告 ・札幌クラブ ・北見クラブ ・十勝クラブ ・札幌北クラブ
(2) 議案審議

議案第1号 2020-2021年度 第3回役員会議事録承認の件

議案第2号 2020-2021年度 第2回評議会議事録承認の件

議案第3号 2021-2022年度 北海道部第1回評議会の開催について

議案第4号 2021-2022年度 北海道部全会員交流会

議案第5号 2020-2021年度 北海道部長報告の承認

議案第6号 2020-2021年度 北海道部決算の承認並びに会計監査の実施について

議案第7号 2021-2022年度 北海道部長方針の承認

議案第8号 2021-2022年度 北海道部予算の承認

議案第9号 2021-2022年度 北海道部部費の徴収について 一人 3,000円とする。(納付期日 12月30日)

議案第10号 2021-2022年度 YMCA サービス「ピンクシャツデー支援」

議案第11号 2021-2022年度 CS 資金申請「チャリティーラン支援」

議案第12号 2021-2022年度 CS 資金申請「チミケップ国際キャンプ場棧橋政策支援」

議案第13号 会員増強事業について: Change! 2022 推進委員会よりの会員増強カード

いずれの議案も中村方より詳細な説明があり、慎重審議の結果可決された。

(p.4 右欄参照)

YMCAニュース 担当主事 北川 佳治

YMCA サマーキャンプ報告

キャンパーひとりひとりの成長を願う、組織的教育キャンプを行っているYMCAは、1920年(大正9年)、大阪YMCAが日本で初めて少年達のための教育キャンプを実施しました。それから100年を超える歴史と伝統のあるYMCAキャンプは、時代が変わっても常にキャンプを人々のより良き成長のための教育手段として捉え、その時代に必要とされるテーマを追い求めています。

全国的に、今年もコロナ禍でキャンプの機会が数多く失われていますが、札幌YMCAでは、コロナ感染防止対策を講じつつ、可能な限りキャンプの機会を作り7月下旬から順次スタートしています。人数制限をもったことで小規模となってしまう、運営スタッフとしては、寂しさが感じられましたが、参加メンバーの笑顔と成長した言動が見られると、いつしか寂しさは無くなりました。



左：登別キャンプ
下：日高キャンプ



右：登別キャンプ
下：日高キャンプ



また、YMCAキャンプの大きな特徴として、高校生や大学生を中心としたユースボランティアリーダーの存在があり、彼女ら彼らのエネルギーがメンバーとキャンプ活動により一層の活気を与えてくれます。この夏も多くのユースボランティアリーダーが参加してくれ、メンバーのキャンプ活動をサポートしてくれています。参加メンバーが大人になってもYMCAキャンプの記憶が残っていると多く聞きます。キャンプ自体の楽しさもあると思いますが、YMCAキャンプは、やはりユースボランティアリーダーの存在が大きいのだと思います。

2021年度サマーキャンプは、お盆前まで続きます。それぞれのキャンプが参加メンバー、ユースボランティアリーダー、スタッフそれぞれの良き思い出と成長の糧になるよう、皆で力を合わせて良いキャンプを作っていきます。

今後の予定

～8月31日	チャリティーラン
8月14日(土)	アジア太平洋地域大会 台湾台南大会 (Zoom)
8月28日(土)	カフェドフレッシュワイズ
9月9日(木)	北海道部第1回評議会
9月19日(日)	チャリティー・パークゴルフ (予定) 詳細未定。
10月3日(日)	チャリティー・バザー (予定) 詳細未定。
10月30日(土)	次期部長・事業主任研修会
11月11日(木)	北海道部全体交流会

北海道部第1回役員会 補足

札幌クラブ：チャリティーラン援助申請

8月4日、リモートで行われた北海道部第1回役員会に札幌クラブは、CS資金として、「2022年チャリティーラン チーム参加登録費」として30,000円の拠出を提案しました。来年度も札幌クラブは2022年に開催予定の「2022年チャリティーラン」のチーム参加費2チーム分¥15,000×2 チーム分を申請します。毎年継続の大会で、ここ2年はコロナウイルス感染予防の為に開催方法を変えての実施となっています。この方法は道内の各ブランチにも呼び掛けることができます。また一般企業や学生、YMCA関係者など地域に密着した大会として多くの方に認知され始めています。札幌クラブ独自でも参加資金や参加者の募集など継続的な支援を行っていますが、さらに広くYMCA活動を一般市民に理解してもらう為北海道部の支援をお願いします、可決されました。

北見クラブ：チミケップ棧橋新築!

北見クラブからは、「チミケップキャンプ場棧橋製作支援」として、CS資金30,000円の申請がありました。北見クラブは毎年、チミケップキャンプ場の整備、備品の調達等に協力していますが、チミケップキャンプ場の棧橋が老朽化が進み、作り直さなければならなくなりました。その棧橋の材料費用の申請です。審議の結果、棧橋製作材料費だけでなく、ペンキ代等も含め金額を50,000円に増額して可決されました。



ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。